

データ・調査・評価による学生の学修実態の理解 II

【2014 年度全体テーマ】

学習支援・学生支援の充実に IR を生かすには

学生たちが何をどのように学ぶことができているのか、学修上どのようなニーズを持っているのか、卒業時点でどのような学修成果を挙げているのか、といったことについて、それぞれの大学が十分に把握することは、カリキュラムの持続的な改善やニーズに基づく FD を進めていくために重要なことです。これらをデータに基づいて把握するための仕組みとして、昨今注目されているのが IR (Institutional Research) で、本学の「市大改革プラン」でも取り上げられています。FD 研究会では昨年度、「学生が『何をどのようにどの程度学べているか』を知るには?—IR 実践から見えてくるもの—」というテーマで、「IR とは何か」に関する理解を共有するとともに、市大・府大の IR 的実践の成果や課題についての情報交換を踏まえた議論を行いました。本年度は、多くの教職員にとって身近な関心事であると思われる学習支援・学生支援をサポートできる IR とはどのようなものかについて、本学における取組の報告をベースにして検討をしたいと思います。

日時: 2014 年 11 月 4 日 (火) 午後 1 時 30 分～5 時 (終了後、懇談会)

場所: 大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター10 階会議室

プログラム

13:00	受付開始
13:30	開会挨拶 (西澤良記 学長)
13:40～13:55	第 11 回 FD 研究会報告
13:55～15:30	話題提供 ① 工学部電気情報工学科における学修指導の現状と課題 阿多信吾 工学研究科教授 ② 「学生生活実態調査 2013」から見える市大生像 富澤修身 学生担当部長 経営学研究科教授 ③ 教員免許状の取得を目指す学生の学習実態の把握と指導の在り方—「教職カルテ面接」を通して— 添田晴雄 (文学研究科准教授) 上森さくら (島根大学教育学部講師、元大阪市立大学文学研究科特任講師)
15:30～15:45	休憩
15:45～16:45	全体討論 コメンテーター: 高橋太 (理学研究科教授)
16:50	閉会挨拶 (桐山孝信 大学教育研究センター所長)

司会: 中島義裕 (経済学研究科)・西垣順子 (大学教育研究センター)

※ 閉会後に懇談会 (無料) を予定しております。お時間の許す方は、是非ともご参加ください。
 皆さまには、万障お繰り合わせの上、宜しくご参集下さいますようお願い申し上げます。

主催・連絡先: 大阪市立大学 大学教育研究センター
 申し込み先メールアドレス: center@rdhe.osaka-cu.ac.jp
 Fax: 06-6605-2137

共催: 学生担当委員会
 全体企画: 西垣順子 (大学教育研究センター)